

21年10月 タイ国内 AED 関連ニュース (特集)

知っておいてください！

“急性心臓発作” は処置が遅れると、死に至ることがあります。



タイ保健省医療局局長によると、急性心臓発作 (Heart attack) は、成人が死亡する主な原因の一つとなっており、40歳以上の方に多く見受けられます。冠状動脈が急に狭くなる、または詰まることによる急性虚血性心疾患から生じると考えられています。

胸の左部に痛みを生じさせ、左腕、または顎に亀裂の入るような痛みを与え、発汗、手足の冷え、目まい、失神、倦怠感、吐き気や嘔吐、息切れなどの症状を引き起こします。

急性心臓発作を引き起こす主な危険因子は、喫煙、糖尿病、高血圧、高脂血症、腹部回りの脂肪、トランス脂肪酸を含む食品の摂取などがある。しかし、急性心臓発作は上記のような要因のない方にも起こりうる病気です。

心臓発作の症状があるものの体調がよい場合は、できる限り早く病院に行かなければなりません。また、急性心臓発作で意識を失っている患者を目撃した場合は、病院に搬送するまでに行う心肺蘇生法 (CPR) と除細動器 (AED) の使用方法についての知識を有しておく必要があります。現在、タイ保健省には fast track と呼ばれる救急医療システムがあり、1669 に電話して、患者に初期治療を施し、そのまま病院へ搬送することができます。

(参考サイト)

<https://www.bangkokbiznews.com/health/966273>

<https://www.thairath.co.th/news/local/2172512>